

演習 I

担当者 松尾 俊彦

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

ロジスティクスの特徴は、そのサービス性にあるといえる。それ故、サービスの受け手の違い、対象となる物の形態（単純には重いか軽いかなど）、移動距離、要請される処理時間などにより、ロジスティクス活動は多様な形態を取らざるを得ない。

したがって、事例研究は欠かせないが、理論がそこに存在することも確かである。まずは、基本文献や基本的事項を消化することから始める。

個別性と普遍性のバランスを取りながら、ゼミ生の発表を中心に演習を行う。

●講義の到達目標

修士論文を作成するために必要な基礎的理論と専門的知識を修得するとともに、研究課題を発見し、その課題の解決方法を設定するとともに、解明に向けて調査研究できる能力と思考方法を身につける。

●講義計画

前期は、文献研究とケース・スタディを中心に行う。理論の理解や企業経営の中でいかに実践されてきたかについて学ぶ。

後期は、ゼミ生各自の研究テーマに沿った文献を中心にレビューを行い、その分析と研究報告・討論を重ねて、修士論文作成に向けた基礎固めを行う。

●成績評価基準と方法

演習への積極的姿勢（質問、意見表明など）や報告の内容をみて評価する。文献研究内容で50%、報告内容で50%として配点する。

●テキスト又は参考文献

受講者各自の研究内容に沿った文献を紹介する。

その他の文献は適宜紹介する。

●受講上の留意点

明確な目標設定と効果的な研究方法を組み立てることができれば、研究は比較的スムーズに進んでいくが、そこまでの努力が求められる。こつこつと研究を積み上げていくことが必要である。